

第8回『つくの井戸端』

津久野中学校 校長 船橋 俊彦
地域コーディネーター 富田 久子

2月はスキー実習(1年/2年)、私立高校入試でした

コロナだけでなくインフルエンザまで。こんな中、無事に実施でき、良かったです。

郡上高原での1泊2日のスキー実習、お家での子ども達の反応はどうでしたか？

我が家の孫は「楽しかった！もっと行きたかった！明日から学校や、嫌やな！」(富田)

高校入試は、子ども達にとって初めての進路選択。お家での反応はどうですか？

専願の生徒はホッと！でも、併願の生徒は公立が本命、気持ちが途切れないように。

こんな時の寄り添い、声掛け、大切ですね。とは分かっているけれど、…。

私が中学生の時、父親「ボーっとせんと勉強せんか！合格でけへんぞ！」

母親「しんどいな。お母ちゃんもそうやったわ」 (両極端でした)

さて、今年度の第8回『つくの井戸端』を下記のように実施します。

子育て真っ最中のお母さん達が集い、学年枠を超え、勉強/友達/ゲーム/家での様子など情報交換し、「そうなんだ」とホッとしてもらえる場です。

校長からも、3学期以降のホカホカ情報を聞くことができます。

今回はどんな話題で盛り上がるか、楽しみです。

参加お待ちしております。

一度、覗いてみてください。

日時 3月3日(金) 10時～11時30分

場所 図書室(1階)



前回のつくの井戸端(1/26)

何とお母さん達14人の参加が！

まずは、生徒指導主事の玉浦先生(初参加)から「生徒を信頼し、良い関係性を作りたい！」と熱い思い。そして、校長からの熱い情報提供。

その後、いつものようにお母さん達とコーディネーターで

- ・コロナ後遺症の体験談
- ・気になる内申書や高校選び …

(将来が気になるけど、でもでも、今が大切♥
我が子とどうかかわり、どう寄り添う？…)

様々な話に、「なるほど！」

『地域コーディネーター』とは

- ・お母さん達の心の応援団
- ・保護者と先生の橋渡し

.....きりとり線.....

『つくの井戸端』(3/3)に参加します。

保護者 名前 _____.

生徒 年 組 名前 _____.

年 組 名前 _____.